

Japan Clinical Oncology Group(日本臨床腫瘍研究グループ)
食道がんグループ

がん研究開発費指定研究(26-A-4)主任研究者:飛内賢正(国立がん研究センター中央病院)
「成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究」班

JCOG1406-A

臨床病期 II/III 食道癌(T4 を除く)を対象とした術前化学療法＋食道切除術と根治的
化学放射線療法の全生存期間の比較に関する研究 ver1.0

～JCOG9906 と JCOG9907 との統合解析～

Comparison of overall survival of clinical stage II-III esophageal squamous cell
carcinoma patients treated with preoperative chemotherapy followed by surgery or
definitive chemoradiotherapy:
an integrated analysis of JCOG9906 and JCOG9907

グループ代表者:北川 雄光
慶応義塾大学医学部 一般・消化器外科

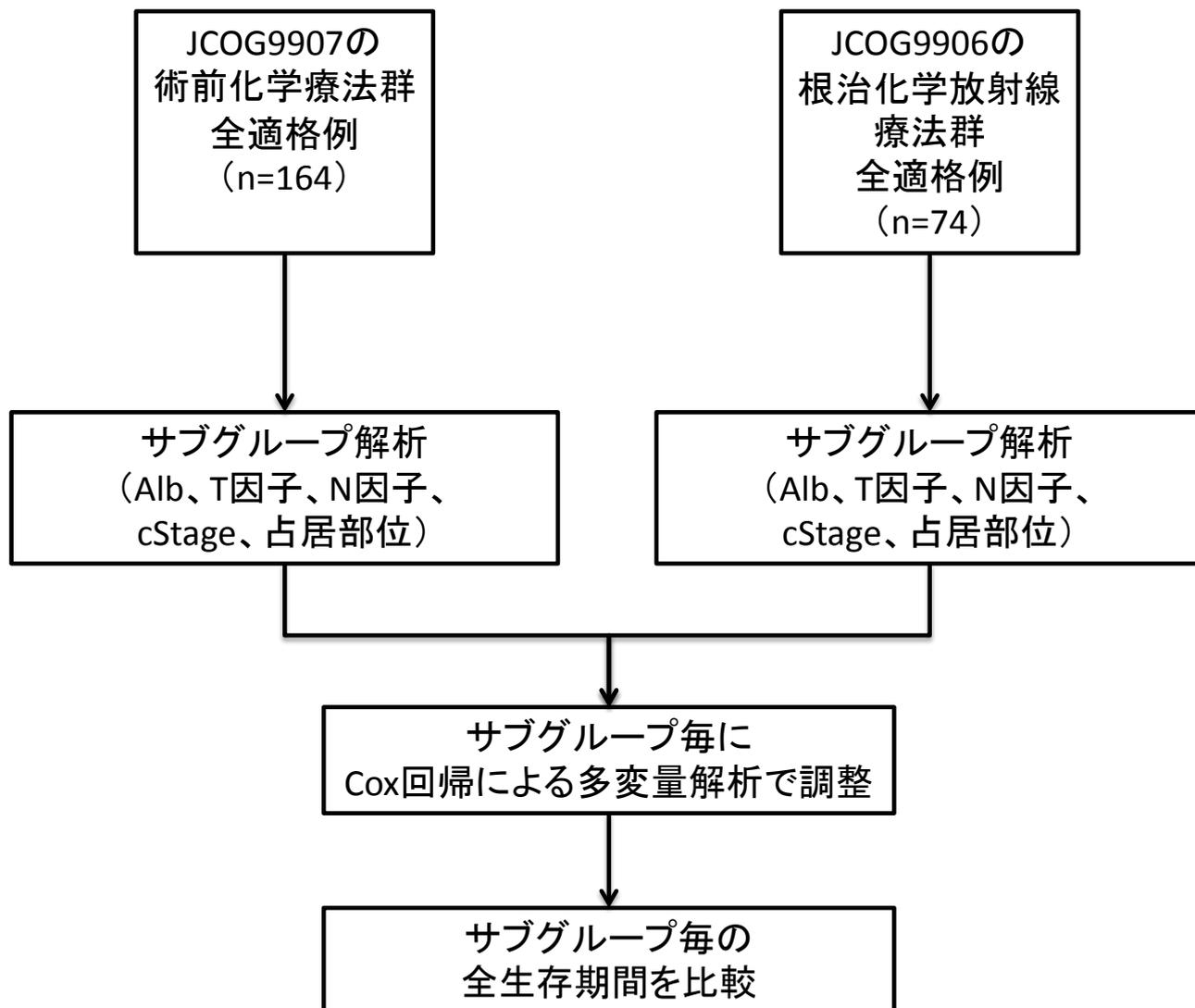
研究代表者 :加藤 健
国立がん研究センター中央病院 消化管内科
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

研究事務局 :野村 基雄
愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部
〒464-8681 愛知県名古屋市千種区鹿子殿 1-1

加藤 健
国立がん研究センター中央病院 消化管内科
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

0. 概要

0.1. シェーマ



0.2. 目的

JCOG9907 および JCOG9906 に登録された臨床病期 II/III (T4 を除く) 胸部食道癌を対象として、JCOG9907 にて術前化学療法が行われた患者と JCOG9906 にて根治的放射線療法が行われた患者との全生存期間を比較することで、術前化学療法に比べ根治的放射線療法の治療成績が劣らない患者集団が存在するかを探索的に検討する。

0.3. 対象

JCOG9907 術前化学療法群の全登録例 (164 例) および JCOG9906 根治化学放射線療法群の全登録例 (76 例) のうち全適格例 (JCOG9907: 164 例、JCOG9906: 74 例)。

0.4. 方法

JCOG9907 の術前化学療法例と JCOG9906 の根治的放射線療法例とを対象に、各群のサブグループ毎の全生存期間を算出し、それぞれ Cox 比例ハザードモデルを用いた多変量解析で調整を行った上で、各サブグループ毎に両群の全生存期間を比較する。解析には、JCOG データセンターで保管している既存データを使用する。

0.5. 研究期間

研究期間: 2014 年 8 月 ~ 2016 年 8 月

0.6. 問い合わせ先

研究事務局:野村 基雄

愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部
〒464-8681 愛知県名古屋市千種区鹿子殿 1-1

研究事務局:加藤 健

国立がん研究センター中央病院 消化管内科
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1